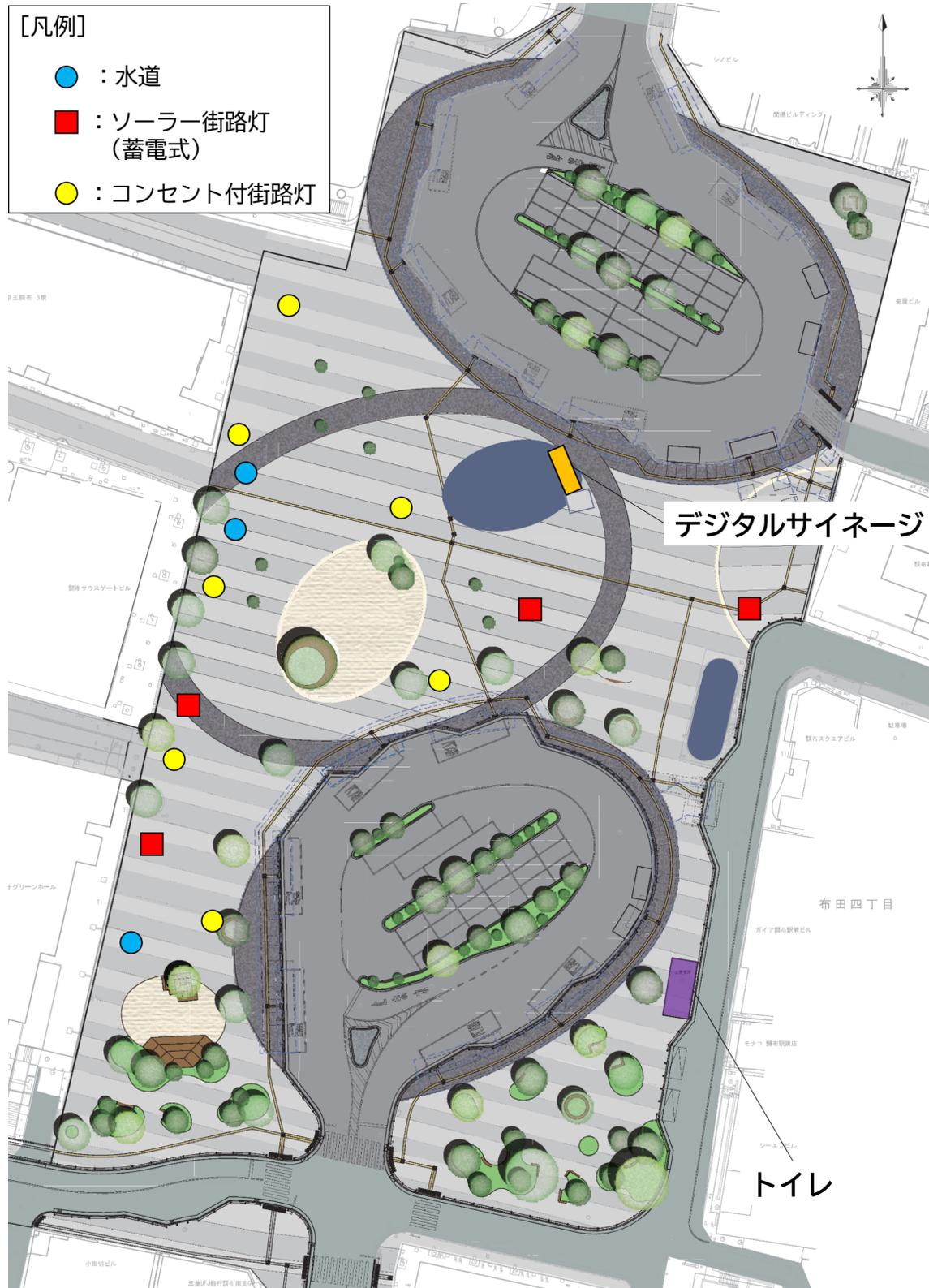


調布駅前広場の整備計画について

調布駅前広場の整備について

■ 調布駅前広場の設備について



■ 整備内容

- これまでに実践した市民参加の結果を踏まえ、広場利用者が通年快適に利用できるように、樹木の周りに木製ベンチを設置する
- 各イベント空間に水道や電源を設置する
- フェーズフリーの観点から、災害時にも歩行者等の安全性を確保するため、蓄電式の街路灯を設置する
- その他の設備として、トイレ、デジタルサイネージ、スピーカー、花壇を占用物件として設置する

■ 設備イメージ

ソーラー街路灯
(蓄電式)

画像出典：Panasonic株式会社ホームページ

コンセント付街路灯



画像出典：Panasonic株式会社ホームページ

水道



▲ 水道のイメージ



画像出典：Panasonic株式会社ホームページ

▲ 街路灯に設置するコンセント

調布駅前広場の植栽について(1)

- 調布駅前広場の植栽については、令和3年3月に『調布駅前広場整備計画図』で決定している。
- その後、関係機関等との協議を踏まえ、一部の配置を変更した(本数は変更なし)。

■ 平面図



■ 植栽イメージ

常緑高木



クスノキ アラクシ シラカシ ユズリハ クロガネモチ

落葉花木



ヤマボウシ サルスベリ エゴノキ ヒメシャラ

落葉高木



イチョウ アオギリ

落葉低木



ミツバツツジ ニシキギ ドウダンツツジ

調布駅前広場の植栽について(2)

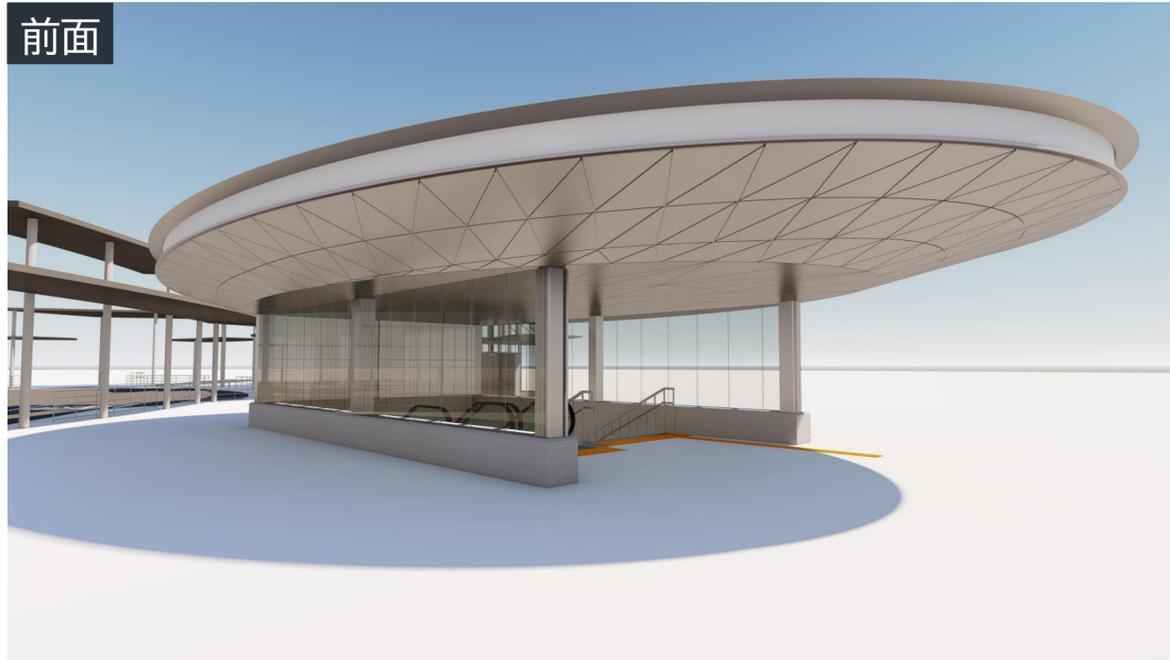
- ・「武蔵野林」という植栽コンセプトのもと、既存樹木に加え、自生種や調布市ゆかりの樹木を配置した。
- ・目に留まりやすく四季の移ろいを感じられる樹種を、植栽景観を引き立てる補完的な添景樹木として配置した。

■ 花暦について

樹木名	鑑賞時期													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
ケヤキ				常緑								黄葉		
クスノキ	常緑													
シラカシ	常緑													
アラカシ	常緑													
ユズリハ	常緑													
クロガネモチ	赤実	常緑								赤実				
ヤブツバキ	赤花	常緑										赤花		
アオギリ			常緑											
ウメ	花・香													
ハナミズキ				白花										
エゴノキ						白花								
ヒメシャラ							白花							
ヤマボウシ							白花							
サルスベリ							桃花							
キンモクセイ										橙花・香				
ノムラモミジ				紅葉							紅葉			
ユリノキ											黄葉			
イチョウ											黄葉			
イロハモミジ											紅葉			
ミツバツツジ				桃花										
ドウダンツツジ					白花						紅葉			
ニシキギ												紅葉		

広場口の建替えについて

■ 完成イメージ図



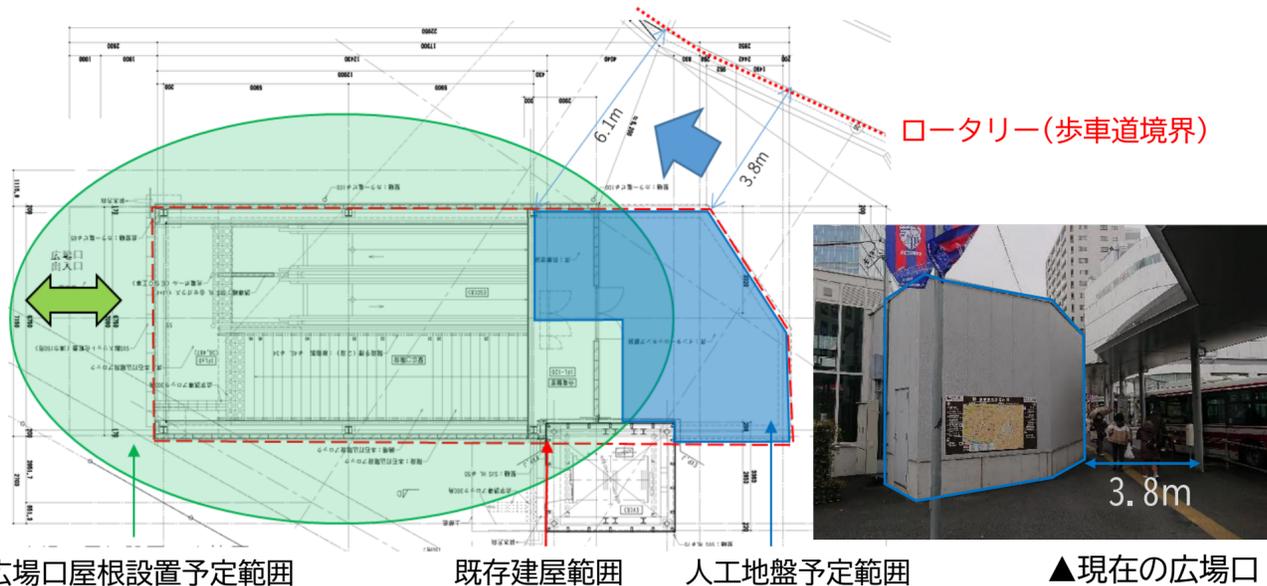
前面



背面

■ 歩行空間の確保について

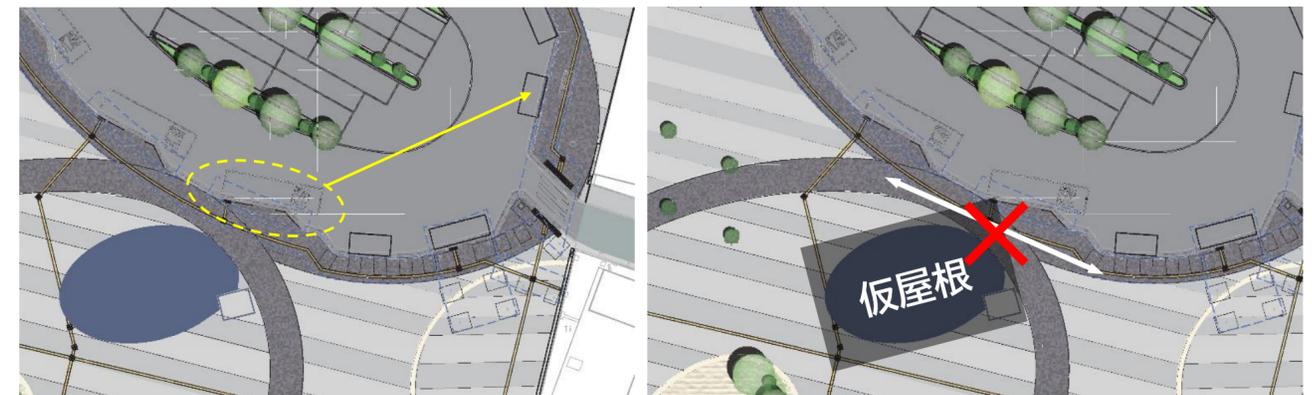
人工地盤(下図の青色部)を設置することで、北側ロータリーとの間の歩行者空間を確保する(現状3.8m⇒約6.1m)。



■ 工事に伴う影響について(予定)

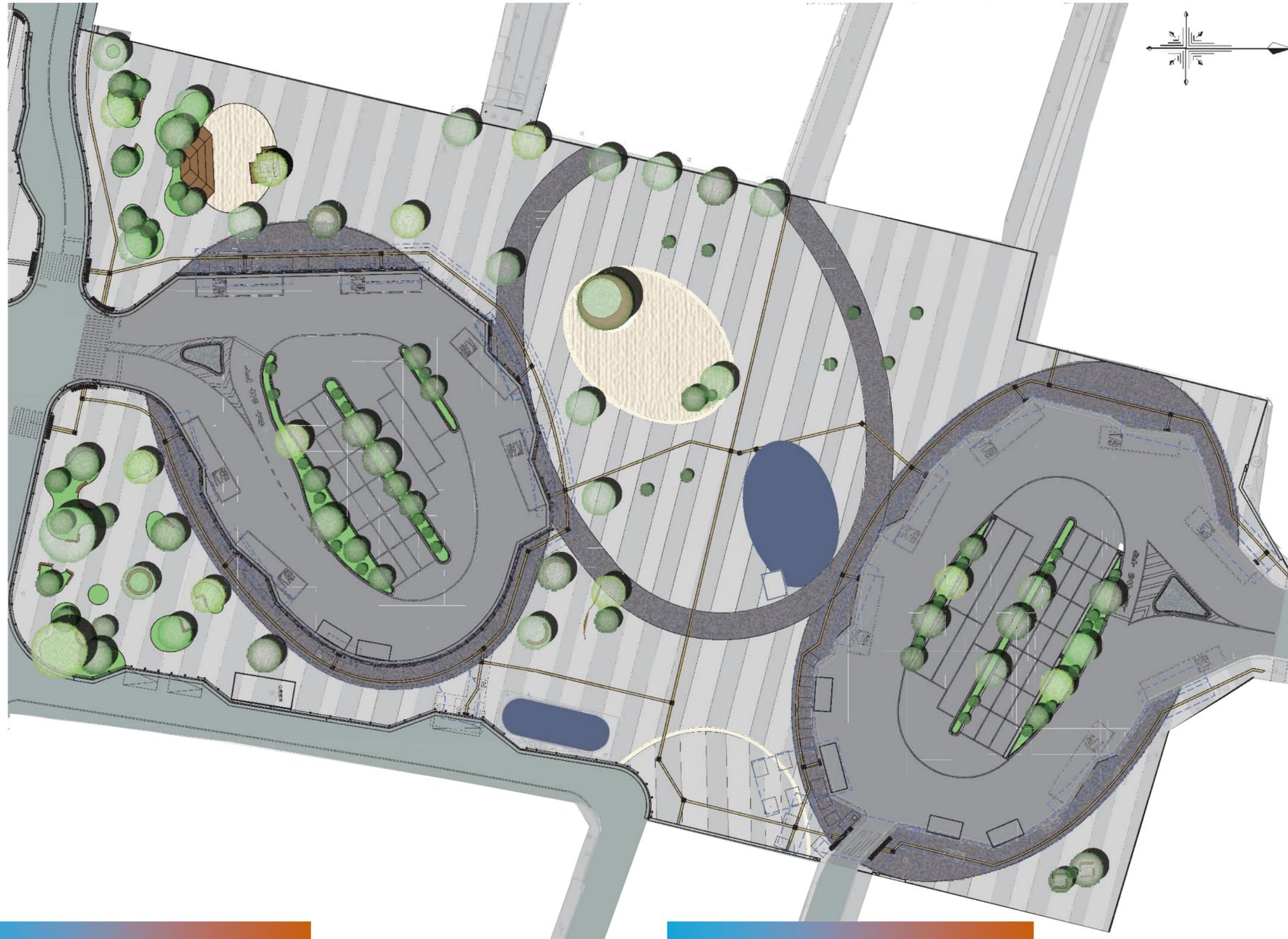
①工事に伴い、バス停を移設

②仮屋根の設置に伴い、一部歩道が通行不可



【工事予定期間】：令和5年10月～令和7年3月
※詳細は、施工業者決定後に施工計画を検討の上、市民等へ周知を図る

持続可能なまちづくり ～調布駅前広場の整備～



フェーズフリーな広場



- イベント空間については、イベントの利用だけでなく災害時も利用できるオープンな空間としています。
- 各イベント空間に、様々な場面で活用できる電源や水道を設置します。
- 一部の街路灯は蓄電機能のあるものを設置し、災害時でも歩行者等の安全性を確保します。また、災害時に携帯電話等の充電ができるUSBポートを備えた街路灯を採用します。
- 誰もが安全・安心に利用できるトイレを設置します。また、災害時にも使用できる仕様を検討します。

ゼロカーボンシティに向けた取組



- 樹木を植えることで、地球温暖化の緩和に寄与します。
- ミストの設置や遮熱機能のある舗装材の活用により、ヒートアイランド現象の緩和に貢献します。



- 街路灯は、ソーラーパネル併設型のものやLED照明を採用することで、使用する電力量を抑制します。

インクルーシブな空間



- 誘導用ブロックの配置については、計画段階から視覚障害者団体等と意見交換やまちあるきを行いながら決定しました。
- 歩道舗装については、障害のある方々からいただいたご意見を踏まえ、誘導用ブロックとの輝度差を確保できる色味や材質の選定を行いました。

ユニバーサルデザインの配慮



- 設置するベンチの高さや形状等は、車いす利用者等の障害のある方でも利用しやすいよう配慮したデザインとします。
- 高齢者や障害のある方、子ども、外国人等、誰でも容易に認識・理解しやすい公共サイン整備を進めます。

ウォークブルなまちづくり



- 木陰にベンチを配置することで、広場利用者の憩いの場を創出します。
- イベント空間を配置することで、まちのにぎわいを創出します。
- 自転車通行ルールを定めることで、歩行者の安全性と快適性を確保します。